



宮島達男「時の蘇生 柿の木プロジェクト」 原美術館 ARC 植樹 20 周年記念イベント

現代美術家 宮島達男氏による「時の蘇生 柿の木プロジェクト」の一環として、2005 年に当館の庭園に植樹された「被爆柿の木 2 世」は今年 20 周年を迎えました。これを記念し、宮島達男氏による講演会と、群馬県在住のアーティスト温井大介氏による 2 種類のワークショップを開催いたします。

「時の蘇生 柿の木プロジェクト」とは

1945 年 8 月 9 日、長崎で被爆しながらも奇跡的に生き残った一本の柿の木。半身は真っ黒に焼け焦げ、いつ倒れてもおかしくないほど衰弱していましたが、1994 年より長崎に住む樹木医の海老沼正幸氏が治療をはじめ、やがて「被爆柿の木 2 世」の苗木を生み出すまでに回復しました。この活動に出会った現代美術家の宮島達男氏は、海老沼氏とともに苗木を世界中の子どもたちに手渡し、柿の木をテーマにアート表現をしながら育て平和と命の大切さを学ぶ「時の蘇生 柿の木プロジェクト」を開始。現在まで世界 26 か国、320 か所以上の幼稚園、学校、美術館、公園などに植樹されるほど活動の輪が広がっています。



アートには他者の痛みを想像する力、新しい世界を創造する力が宿っており、それは国や宗教、人種や言葉さえも乗り越え共感を与えるものです。その「柿の木プロジェクト」の趣旨に当館も賛同し、2005 年この木の里親となりました。

Ⅰ 講演会 「Meet the Artist: 宮島達男」

日 時：2025 年 11 月 16 日（日）16:15-17:45（開場 15:45）

会 場：原美術館 ARC 内 カフェ ダール ※会場準備のため 14:30 ラストオーダー、15:00 閉店といたします。

定 員：50 名（予約先着順）

参加費：一般：1,500 円（入館料別、1 ドリンク付）／原美術館 ARC メンバーシップ会員および
同伴者 1 名まで（シングル会員はご本人のみ）：1,000 円

ご予約：当館ウェブサイトのイベントページにて専用フォームを開設いたします。

宮島達男氏が長年携わってきた「柿の木プロジェクト」のこれまでと今後、原美術館、ハラ ミュージアム アークおよび原美術館 ARC との思い出、そして宮島氏が現在取り組んでいる活動についてもお話いただきます（聞き手：原美術館 ARC 館長 青野和子）。

宮島達男プロフィール



現代美術家。1957 年東京生まれ。1986 年東京芸術大学大学院修了。1988 年「第 8 回ハラアニュアル」（原美術館）、ヴェネツィア・ビエンナーレ新人部門に招待され、デジタル数字の作品で国際的に注目を集める。以来、国内外で数多くの展覧会を開催し、世界 30 か国 250 か所以上で発表している。1997 年ジュネーブ大学コンペティション優勝。1998 年第 5 回日本現代芸術振興賞受賞。2021 年第 71 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。1998 年ロンドン芸術大学名誉博士授与。2006-2016 年東北芸術工科大学副学長、現在は同大学客員教授。2012-2016 年京都芸術大学副学長、現在は同大学客員教授。代表作に「メガ・デス」（1999/2016）など。被爆した柿の木

2 世を世界の子どもたちに育ててもらうアート「時の蘇生・柿の木プロジェクト」（1995-）、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と震災の記憶の継承、東北の未来をつくることをめざすプロジェクト「時の海-東北」も推進している。

II 温井大介によるワークショップ1「壁にちりばめ柿に描き」

日 時：2025 年 10 月 19 日（日）～2026 年 1 月 12 日（月・祝）10:00-16:30

場 所：原美術館 ARC 内 カフェ ダール

参加費：無料（入館料別）

折り紙で柿の実を折ったり、あらかじめ用意された柿の実や柿の葉をかたどったカードに平和へのメッセージを書き、壁に描かれた大きな柿の幹に自由に貼ってゆきます。タイトルは「氷に鑿め（ちりばめ）水に描く」という、氷に彫刻をしたり、水に絵を描くような「すぐに消えてしまうもの」をたとえる諺をもじった温井氏による造語です。イベントや企画は一過性のものが多いのに対して、柿の木プロジェクトは世界中に広がり、人々の心に刻まれ続けます。本企画にはアートの力で描き出された穏やかな景色が、参加者の心を通し、未来まで残り続けてほしいという祈りが込められています。

また、戦後の焦土の景色から時を経て、人々の願いが重なり、ひとつひとつ緑が増え、やがて大きな実りのある平和な風景が描き出される…。当館の柿の木を眺めながら、過去に思いを馳せ、現在、そして未来への移り変わりを想像することも目的です。



原美術館 ARC 原爆柿の木2世



柿の実メッセージカードの原案

©Daisuke Nukui

III 温井大介によるワークショップ2「かきかきによい！」

日 時：2025 年 11 月 1 日（土）、15 日（土）13:00-15:00、11 月 16 日（日）10:00-12:00

場 所：原美術館 ARC 内 カフェ ダール

参加費：600 円（入館料別・現金のみ）

「時の蘇生 柿の木プロジェクト」に関連して、消しゴムハンコを使ったワークショップを開催いたします。タイトルのもとになった「柿柿如意」は、中国語の「事事如意」（万事上手くいきますように！）という言葉と同じ発音の「柿」と「事」から生まれた縁起の良い言葉です。

はじめに参加者はサイコロを振り、その出目によって「柿の種」、「柿の苗木」、「成長した大きな柿の木」、「柿の実」などを決めます（例えばサイコロの出目が1であれば「柿の種」、2であれば「柿の苗木」など）。スタンプの色もサイコロの出目によって決まります。温井氏のガイドのもと、参加者は木版刷りの多色刷りの原理でいくつかのモチーフを重ねたあと、そこに自身の姿を重ね合わせ、1枚に刷り上げます。単純な作業ながら、「種」といった過去の姿や、「青い実」ならば夏、「赤い実」ならば二週間後…というように、時間を巻き戻したり、未来への想像を膨らませながら制作を行うことになります。また、偶然に左右されるため出来上がりは誰も予想できず、参加者は思わず「上手くいきますように！」と願いを込めることでしょうか。さながらうつろう時をとどめる写真のように、今日この日の「時の蘇生 柿の木プロジェクト」の思い出を1枚にし、お持ち帰りいただきます。未就学児から大人まで誰でも参加できる内容です。

温井大介プロフィール



群馬県出身。2005 東北芸術工科大学洋画コース卒業、2024 京都芸術大学大学院通信教育課程洋画終了。卒業選抜賞（東北芸術工科大学）、IAG 大賞 2025（池袋アートギャザリング）他。教育機関に勤務する傍らアートプロジェクトの主催やサポートを行う。現在は「絵画が死なない理由」を研究テーマに、二層構図を用い、北方ルネサンスの画家ロヒールと群馬県の画家山口薫をテーマに作品を制作している。2008 年から現在までグループ展「妙義エンナーレ！」を主催。主なグループ展に「山口薫先生からきみたちへ」（高崎市美術館、2018 年）、「アートプロジェクト高崎」（高崎市、2020-2024 年）、「長野市アートグループ展招聘（長野市美術館、2025 年）」、「池袋回遊派展」（池袋自由学園講堂、2025 年）、主な個展に「IAG 大賞受賞記念展 温井大介個展 TUAD ART-Links」（池袋 B-gallery、2025 年）、「魂をとじこめるまじない」（ya-gins 前橋、2025 年）がある。

カフェ ダール限定メニュー



柿と上州生ハムのアーリオ・オーリオ・エ・ペペロンチーノ

今年の「時の蘇生 柿の木プロジェクト」に合わせ、柿を使用した期間限定のメニューが登場します。この機会にぜひご賞味ください。



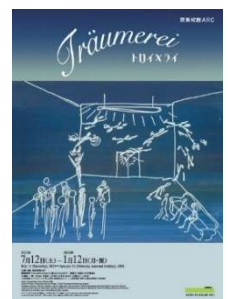
展覧会イメージケーキ

今年の秋から草間彌生《ミラールーム（かぼちゃ）》をイメージしたスイーツを提供中です。展覧会の鑑賞と併せてお楽しみください。

開催中の展覧会

「トロイメライ」 ～2026 年 1 月 12 日（月・祝）まで

主な出品作家：アンゼルム キーファー、草間彌生、奈良美智、ジョナサン ボロフスキー、森村泰昌、横尾忠則、マーク ロスコ、狩野派、円山応挙など



その他のイベント

- ・榎本浩子 「やわらかな時間」 10 月 18 日（土）、25 日（土） 各日 10:30- / 13:30-
定員：各回 5 名程度（事前予約不要）参加費：600 円
- ・おしゃべりアート鑑賞会（協力：対話型アート鑑賞ラボ）11 月 8 日（土） 11:00～（60 分程度）
定員：10 名 参加費：無料

※詳細はウェブサイトイベントページ、もしくは広報担当者へお問い合わせください

関越交通 路線バス「高崎駅～原美術館 ARC 線」のご案内

毎月第一土曜日、新幹線停車駅の JR 高崎駅西口から原美術館 ARC 敷地内バス停まで
乗継不要でご来館いただけます。

◎経路 高崎駅西口 ～ 伊香保グリーン牧場 ～ 原美術館 ARC *予約不要

◎運賃（片道）大人 1,000 円、小人 500 円

◎運行期間 2025 年 4 月～2026 年 1 月の 毎月第一土曜日

◎運行時刻 高崎駅西口 → 伊香保グリーン牧場 → 原美術館 ARC

高崎駅西口 発 8:30/11:00/14:05

伊香保グリーン牧場 着 9:30/12:00/15:05

原美術館 ARC 着 9:35/12:05/15:10

※最終便をご利用の場合、伊香保グリーン牧場へはご入場いただけませんので
ご注意ください。（伊香保グリーン牧場入場受付 15:00 まで、閉場 16:00）

◎乗車時間 1 時間程度

◎乗車場所 高崎駅西口 バスロータリー5 番乗り場

11 月 16 日（日）の講演会終演後にも JR 高崎駅西口行きを臨時運行いたします。

11 月 16 日（日）臨時便

原美術館 ARC 発 18:05 → 高崎駅西口 着 19:10

※臨時便は伊香保グリーン牧場には停車いたしません。

INFORMATION

原美術館 ARC 377-0027 群馬県渋川市金井 2855-1

開館時間 9:30-16:30（入館は 16:00 まで）／カフェ ダール営業時間 10:00-16:30（L.O.16:15）

※カフェ ダールを利用する場合も美術館入館料が必要です。

休館日 木曜日

入館料 一般 1,800 円、大高生 1,000 円、小中生 800 円、70 歳以上 1,500 円

※お得な前売りオンラインチケットあり、原美術館 ARC メンバーシップ会員は無料

ウェブサイト <https://www.haramuseum.or.jp> Twitter: @haramuseum_arc

Instagram: @haramuseumarc



取材・図版提供など広報に関するお問い合わせ：原美術館 ARC 学芸部 山川
E-mail : press@haramuseum.or.jp Tel : 0279-24-6585 Fax : 0279-24-0449